



令和2年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和元年11月11日

上場会社名 あんしん保証株式会社 上場取引所 東
コード番号 7183 URL <https://anshin-gs.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)雨坂 甲
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部担当 (氏名)中西 光明 (TEL)03(6627)3440
四半期報告書提出予定日 令和元年11月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年3月期第2四半期の業績(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第2四半期	1,624	2.9	137	30.5	169	27.9	110	47.2
31年3月期第2四半期	1,578	24.3	105	202.3	132	91.5	74	92.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第2四半期	6.13	—
31年3月期第2四半期	4.17	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第2四半期	4,397	2,247	50.9
31年3月期	3,932	2,172	55.1

(参考) 自己資本 2年3月期第2四半期 2,239百万円 31年3月期 2,165百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2年3月期	—	0.00	—	—	—
2年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年3月期の業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、通期の対前年増減比)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,430	7.8	310	12.7	360	5.9	222	6.2	12.35

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2年3月期2Q	17,976,600株	31年3月期	17,976,600株
② 期末自己株式数	2年3月期2Q	112株	31年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2年3月期2Q	17,976,494株	31年3月期2Q	17,976,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の堅調な推移による雇用・所得環境の改善が続くなど穏やかな回復基調となりました。しかしながら、米国・中国間の通商問題の動向等海外経済の不確実性や今年10月に実施される消費税率等の引き上げが今後の景気動向に影響を及ぼす可能性が懸念されます。

賃貸住宅市場におきましては、令和元年9月の時点で新規住宅着工戸数が前年同月比4.9%減少となる中、貸家着工件数は前年同月比16.8%の減少となりました。(国土交通省総合政策局建設経済統計調査室発表：令和元年9月の住宅着工の動向について)

このような事業環境のもと、当社はトップラインの向上を目指して営業に特化できる組織体制の整備を行い、加盟店の開拓強化、既存加盟店の営業注力、新商品による新たな市場開拓に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経営成績は、営業収益1,624,819千円(前年同期比2.9%増)と、増収となりました。また、利益につきましては、営業利益137,135千円(前年同期比30.5%増)、経常利益169,738千円(前年同期比27.9%増)、税引前四半期純利益169,738千円(前年同期比40.4%増)、四半期純利益110,231千円(前年同期比47.2%増)となりました。

当社の事業セグメントは、家賃債務保証事業の単一セグメントでありますので、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産につきましては、前事業年度末に比べ464,732千円増加の4,397,116千円(前事業年度末比11.8%増)となりました。増加の主な要因は、現金及び預金が101,229千円増加したこと、営業未収入金が222,084千円減少したこと、求償債権が89,305千円増加したこと及び収納代行立替金が503,242千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前事業年度末に比べ390,446千円増加の2,150,036千円(前事業年度末比22.2%増)となりました。増加の主な要因は、短期借入金700,000千円減少したこと、営業未払金が98,202千円減少したこと、未払法人税等が39,154千円減少したこと及び収納代行預り金が1,263,076千円発生したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ74,286千円増加の2,247,079千円(前事業年度末比3.4%増)となりました。増加の主な要因は、四半期純利益110,231千円を計上したこと及び剰余金の配当35,953千円等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、757,211千円と前年同期と比べ258,218千円(51.7%)の増加となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果、増加した資金は909,654千円(前年同期は158,097千円の支出)であります。この主な増加要因は税引前四半期純利益169,738千円、営業未収入金の減少額222,084千円、収納代行預り金の増加額1,263,076千円等であり、主な減少要因は収納代行立替金の増加額503,242千円、営業未払金の減少額98,202千円及び法人税等の支払額95,284千円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果、減少した資金は72,677千円（前年同期は32,464千円の支出）となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出24,369千円、無形固定資産の取得による支出46,666千円等があります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果、減少した資金は735,747千円（前年同期は264,297千円の収入）となりました。この減少要因は短期借入金による純支出700,000千円、配当金の支払額による支出35,713千円であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、令和元年5月13日に発表しました業績予想から修正を行っておりません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期会計期間 (令和元年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	655,981	757,211
営業未収入金	467,379	245,295
求償債権	1,051,147	1,140,452
収納代行立替金	1,629,754	2,132,997
前払費用	20,323	34,924
その他	12,905	28,057
貸倒引当金	△428,963	△479,041
流動資産合計	3,408,528	3,859,896
固定資産		
有形固定資産	8,975	29,670
無形固定資産	304,281	305,035
投資その他の資産	210,597	202,514
固定資産合計	523,855	537,219
資産合計	3,932,383	4,397,116
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,000,000	300,000
営業未払金	202,095	103,893
未払金	57,129	39,475
未払費用	27,380	21,741
未払法人税等	107,650	68,495
収納代行預り金	—	1,263,076
預り金	12,592	9,313
前受収益	176,681	165,894
賞与引当金	68,805	72,276
保証履行引当金	79,307	76,344
その他	13,896	15,777
流動負債合計	1,745,539	2,136,289
固定負債		
その他	14,050	13,746
固定負債合計	14,050	13,746
負債合計	1,759,590	2,150,036
純資産の部		
株主資本		
資本金	680,942	680,942
資本剰余金	435,942	435,942
利益剰余金	1,048,172	1,122,450
自己株式	—	△33
株主資本合計	2,165,057	2,239,302
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	0	43
評価・換算差額等合計	0	43
新株予約権	7,734	7,734
純資産合計	2,172,793	2,247,079
負債純資産合計	3,932,383	4,397,116

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
営業収益	1,578,295	1,624,819
営業費用	1,473,193	1,487,683
営業利益	105,102	137,135
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	5	6
受取遅延損害金	21,347	24,456
償却債権取立益	8,180	11,191
その他	3	95
営業外収益合計	29,540	35,754
営業外費用		
支払利息	1,974	3,151
営業外費用合計	1,974	3,151
経常利益	132,667	169,738
特別利益		
固定資産売却益	9	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
固定資産除却損	11,793	—
特別損失合計	11,793	—
税引前四半期純利益	120,884	169,738
法人税、住民税及び事業税	58,321	59,573
法人税等調整額	△12,345	△65
法人税等合計	45,976	59,507
四半期純利益	74,907	110,231

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	120,884	169,738
減価償却費	37,466	33,912
株式報酬費用	939	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	57,856	50,077
保証履行引当金の増減額(△は減少)	△2,705	△2,963
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,863	3,471
固定資産除却損	11,793	—
固定資産売却損益(△は益)	△9	—
受取利息及び受取配当金	△9	△10
支払利息	1,974	3,151
営業未収入金の増減額(△は増加)	255,484	222,084
求償債権の増減額(△は増加)	△32,200	△89,305
収納代行立替金の増減額(△は増加)	△432,844	△503,242
前払費用の増減額(△は増加)	355	△14,685
長期前払費用の増減額(△は増加)	754	668
営業未払金の増減額(△は減少)	△119,309	△98,202
未払金の増減額(△は減少)	△14,118	△8,452
前受収益の増減額(△は減少)	△13,637	△10,786
収納代行預り金の増減額(△は減少)	—	1,263,076
その他の資産の増減額(△は増加)	3,334	485
その他の負債の増減額(△は減少)	10,759	△11,023
小計	△111,367	1,007,994
利息及び配当金の受取額	9	10
利息の支払額	△1,873	△3,066
法人税等の支払額	△44,866	△95,284
営業活動によるキャッシュ・フロー	△158,097	909,654
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△24,369
有形固定資産の売却による収入	10	—
無形固定資産の取得による支出	△32,823	△46,666
資産除去債務の履行による支出	—	△1,254
その他	349	△385
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,464	△72,677
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	300,000	△700,000
配当金の支払額	△35,702	△35,713
自己株式の取得による支出	—	△33
財務活動によるキャッシュ・フロー	264,297	△735,747
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	73,735	101,229
現金及び現金同等物の期首残高	425,257	655,981
現金及び現金同等物の四半期末残高	498,992	757,211

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。